

横井春野 せいの 能楽史家。明治二十四年五月八日東京生れ、昭和十九年五月六日没（一九一—一九四四）。號鶴城。國史學者横井時冬の子。早稲田大學史學科卒。『能楽新報』主幹。

著書 『能楽全史』（大正六年十一月十一日龍吟社）、『東洋歴史參考書』（大正七年二月二十三日博益堂）、『桃山御殿大奥の秘密』（大正八年十月二十日）、『松堂書店・文開堂書店』、『千代田田城大奥の秘密』（大正九年十一月十日）、『松堂書店』、『山田山田のぐり』（大正十一年六月五日博文館）、『能楽史話』（昭和二年十月二十日能楽新報社）、『浮田浮田和民と能楽通』（昭和五年六月十八日回六書院『通叢書』）、『博土博土記念史學論文集』（合著・早稲田大學史學會）『定金右源』一編、昭和十八年九月二十日六甲書房）等。

